

「ふれあいの里山」復活大作戦



日時	2014年 6月14日(土) 9時 00分~15時 00分
場所	金ヶ崎公園
参加者	市民自然図鑑案内人(明石市内の学校の先生)/4名、エコウイング会員/6名、 団体会員(明石高専)/10名、その他(見学者)/1名、事務局/1名 計 22名 (午後:17名)

● 午前

今日も先月と同様に朝9時に公園の会議室に集合しました。今日は、初参加の明石高専の1年生7名を含めて21名が集まりました。午前中は、明石市内の小・中学校の先生4名の皆様に案内していただき、参加者全員で「明石市民自然図鑑／昆虫篇」の2回目の事前観察会をしました。

先月と同じコースを観察して回りましたが、咲いている花が少ないこともあって、昆虫の姿は先月ほど多くありませんでした。それでも、チョウやガの仲間、シテムシやコガネムシなどの甲虫の仲間などが色々と観察できました。明石高専の学生の皆さんが、トカゲの仲間のカナヘビを捕まえて盛り上がる場面もあり、和気あいの観察会でした。

● 午後

午後は、初参加の学生さんに金ヶ崎公園の活動状況を説明しながら、散策路を一巡して公園の一番奥の水源池まで歩いた後、池の周囲で、今年周りの竹林から侵入してきた生えた竹の伐採をしました。最後に全員で、今日の活動ですっきりした池の様子を振り返って、それぞれに達成感を味わいながら活動を終わりました。

初参加の学生さんも一緒に、朝のミーティング



観察会の様子(その1)



観察会の様子(その2)



午後の活動に向かう学生の皆さん



午後の作業風景(その1)



午後の作業風景(その2)



- 次回 : 2014年 7月 5日(土) 9:00から 午前中は市民自然図鑑の昆虫観察予備調査、午後は定例活動の予定です。次回7月の活動から、通常の第1土曜日に戻ります。たくさんの皆様のご参加をお待ちします。

MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その1)

「あかし市民図鑑／昆虫篇」の2回目の予備観察会や活動前後の観察で、今日確認した昆虫の一部を紹介します。色々な花がたくさん咲いていた5月に比べて、花が少なくなっていることもあって、昆虫の種類も数もだいぶ少ないことを実感しました。それでもチョウや甲虫の仲間を中心に、色々な姿・形を観察できました。

アカシマサシガメ



コガネムシのなかま



アジサイの花にとまるホソヒラタアブ



オオヒラタシデムシ



シデムシの幼虫



シオヤムシヒキ(オス)



シロテンハナムグリ



コガネムシのペア



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その2)

キマワリ



ヨツボシホソバ(オス)



ヨツボシホソバ(メス)



ガガンボのなかま



クロアゲハ(翅が傷んでいます)



クロイトトンボ



シオカラトンボ(オス)



ウラミスジジミ(翅の裏側)
(ダイセンジジミ) 珍しい!



ウラミスジジミ(翅の表側)



ウメエダシャク



アベマキの幹に取りつく
ヒモミノガの幼虫の糞



藁から顔を出した
ヒモミノガの幼虫



トゲアリ



ヨモギハムシ



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その3)

マダラアシナガバエ



コマユバチのなかま



マルズヤセバエのなかま



ホシミスジ



ムラサキシジミ



カノコガ



エントツドロバチ



コシアキトンボ(オス)



クロオビシロフタオ(ツバメガ科)



ベニシジミ



ヨコヅナサシガメ



ガのなかまの幼虫



ドクガの幼虫



マイマイガの産卵



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その4)

ハキリバチに切り取られた木の葉



コマユバチのなかまに寄生されたマイマイガの幼虫



公園内の朽木の下で見つけたアリの巣



カマキリの幼虫(その1)



カマキリの幼虫(その2)



金ヶ崎公園も、6月中旬になって木々の緑が深くなり、野鳥の観察が難しい時期になりました。それでも、ウグイスやホオジロ、ヤマガラなどのさえずりが聞こえました。撮影できたのは、エナガとホオジロ、キジバトだけでした。

エナガ



ホオジロ(幼鳥のようです)



キジバト

